

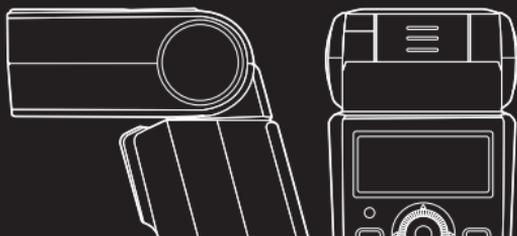


Panasonic[®]

取扱説明書 フラッシュライト

品番 DMW-FL360L

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（16～18ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

VQT4Q06
F1012CT0

目次

| | | | |
|------------------------|---|----------------------|----|
| まずお読みください..... | 2 | ワイヤレスフラッシュ撮影: | |
| 付属品..... | 3 | フラッシュを配置する..... | 9 |
| 各部の名前..... | 4 | 照射方向をセットする..... | 10 |
| コントロールパネル..... | 4 | ワイドパネルを使う..... | 10 |
| 連続発光について..... | 5 | キャッチライトプレートを使う..... | 10 |
| 電池(別売)を用意する..... | 5 | その他の設定..... | 11 |
| 電池を入れる..... | 5 | カスタム設定..... | 12 |
| カメラに取り付ける..... | 5 | 通信機能のないカメラで撮影する..... | 13 |
| 電源を入れる..... | 6 | スリーブ..... | 14 |
| 撮影する..... | 6 | 使用上のお願い..... | 14 |
| フラッシュモード..... | 7 | 仕様..... | 15 |
| ボタンで操作する機能..... | 8 | 保証とアフターサービス | |
| ワイヤレスフラッシュ撮影:設定する..... | 9 | (よくお読みください)..... | 19 |

まずお読みください

- パナソニック製デジタルカメラ用フラッシュライト(以降は「フラッシュ」と表記)です。ワイヤレスモードに対応したデジタルカメラと組み合わせて使うと、ワイヤレスフラッシュ撮影ができます。デジタルカメラによって使える機能が異なります。対応したデジタルカメラについては、ホームページでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

■ 本機の取り扱いについて

- 本機に強い振動や衝撃を与えないでください。誤動作する可能性があります。また、フラッシュ発光部が破壊される可能性があります。
- 砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、砂やほこりが入らないようにしてください。
- 本機は防塵防滴構造ではありません。
万一、水滴などがかかったときは、乾いた布でふいてください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。(P20)
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。
- デジタルカメラ本体の取扱説明書も併せてお読みください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品

【包装を開けたときの確認】

包装箱から取り出すときに、本体、付属品がすべて入っているか、また本体、付属品の外見や機能面に流通、輸送過程での損傷がないかを確認してください。

異常が発見された場合は、ご使用前にお買い上げの販売店にご連絡ください。

付属品をご確認ください。



記載の品番は2012年10月現在のものです。
変更される場合があります。



フラッシュケース
VFC4916



フラッシュスタンド
VFB0243

- 電池は別売です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品は販売店で買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」
でも買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からも買い求めいただけます。

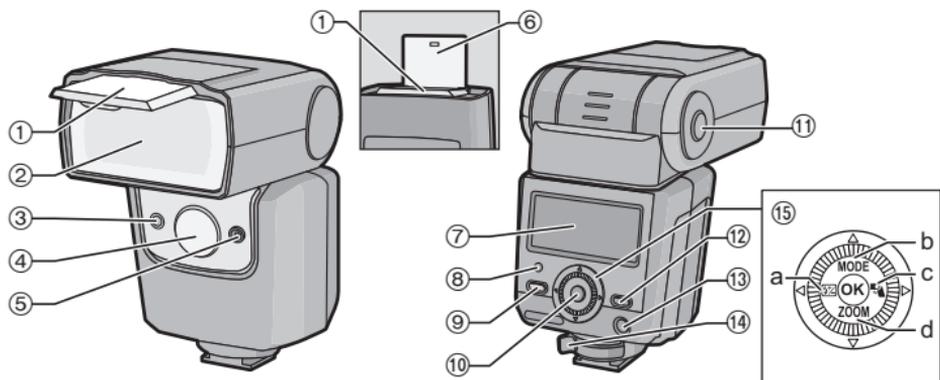
<http://p-mp.jp/cpm/>

CLUB Panasonic

PanaSense



各部の名前

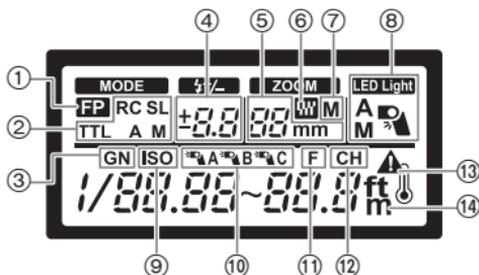


- ① ワイドパネル
- ② フラッシュ発光部
- ③ ワイヤレス受光部
- ④ AF補助光ランプ/
LEDライト
- ⑤ AUTO受光部
- ⑥ キャッチライトプレート
- ⑦ コントロールパネル

- ⑧ [AUTO CHECK]ランプ
- ⑨ [TEST/CHARGE]
ボタン/ランプ
- ⑩ [OK]ボタン
- ⑪ パウンスロック解除ボタン
- ⑫ [BACK LIGHT]ボタン
- ⑬ [ON/OFF]ボタン
- ⑭ ロックレバー

- ⑮ ダイヤル
 - a (◀): フラッシュ光量調整ボタン
 - b (▲): [MODE]ボタン
 - c (▶): LEDライトボタン
 - d (▼): [ZOOM]ボタン

コントロールパネル



- ① FP 発光
- ② フラッシュモード
- ③ ガイドナンバー (GN)
- ④ 発光量調整
- ⑤ ZOOM (照射画角) 設定値
- ⑥ フォーサース
- ⑦ ZOOM (照射画角) モード

- ⑧ LEDライト
- ⑨ ISO感度
- ⑩ [RC]モードグループ設定
- ⑪ 絞り値 (F)
- ⑫ [RC]モード通信チャンネル設定
- ⑬ 温度警告
- ⑭ 距離単位

連続発光について

連続発光するとフラッシュ発光部が熱くなり、劣化、故障の原因となります。連続発光回数は10回まで(発光間隔 2.5 秒)とし、連続発光後は10分以上休ませてください。

電池(別売)を用意する

電池は次のどちらかをご使用ください。

- 単3形アルカリ乾電池(4本)
- 単3形充電式ニッケル水素電池(4本)

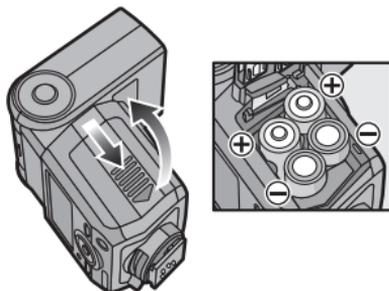
単3形マンガン乾電池は使用できません。

パナソニック製電池の使用をお勧めします。

電池を入れる

●アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池を使用する。

- 1 電池扉をスライドさせて開く
- 2 電池の向きを正しく合わせて入れる
- 3 電池扉を閉じて、最後まで確実にスライドさせる

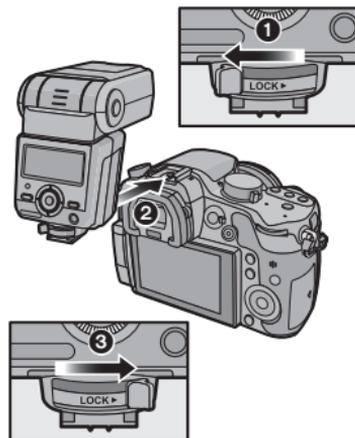


カメラに取り付ける

カメラとフラッシュの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け、取り外しをすると故障の原因となります。

- 1 ロックレバーを[LOCK ▶]の反対方向にスライドさせる(①)
- 2 カメラのホットシューに、フラッシュを奥まで確実に差し込む(②)
- 3 ロックレバーを[LOCK ▶]の方向にスライドさせる(③)

●取り外しの際は、ロックレバーを[LOCK ▶]の反対にスライドさせて、取り外します。

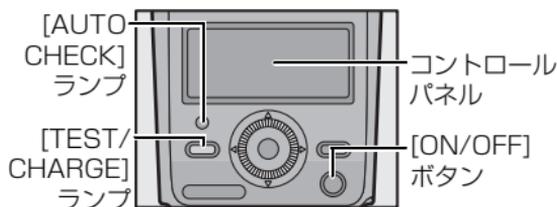


電源を入れる

フラッシュをカメラに取り付けてから、カメラとフラッシュの電源を入れます。

[ON/OFF] ボタンを押す

- コントロールパネルが表示されます。
- 再度[ON/OFF]ボタンを押すと電源が切れます。
- [TEST/CHARGE]ランプの点灯までの時間が以下になったら、早めに電池を交換してください。



アルカリ乾電池: 30 秒以上

ニッケル水素電池: 10 秒以上

- [TEST/CHARGE]ランプと[AUTO CHECK]ランプが同時に点滅したときは、電池が著しく消耗しています。必ず新しい電池と交換してください。著しく消耗している電池を使用すると故障の原因になります。
- カメラがスリープ状態に切り替わると、フラッシュも自動的にスリープ状態になります。
- 約60分経過するとフラッシュの電源が切れます。フラッシュを使うには、[ON/OFF]ボタンを押してください。
- フラッシュを充電するとき、発振音がする場合がありますが、異常ではありません。

撮影する

1 カメラの発光モードを設定する

詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

2 フラッシュのフラッシュモードを設定する

「フラッシュモード(P7)」

- カメラとフラッシュ間で撮影情報の通信が行われコントロールパネルにフラッシュ撮影可能範囲が表示されます。

3 シャッターボタンを半押しする

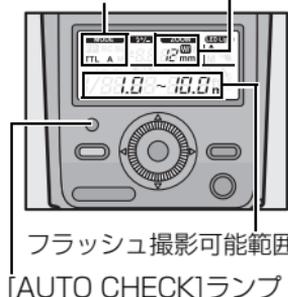
- フラッシュ撮影可能範囲はカメラ側の設定 (ISO感度/絞り値/レンズの焦点距離) によって変化します。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

[AUTO CHECK] ランプが約5秒間点滅すれば、適正露出で発光しています。

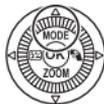
- フラッシュ使用時、レンズやフードによってフラッシュ光がケラれる場合があります。
- 1 mより近い距離の場合は、調光オーバーを防ぐためワイドパネルをお使いください。(P10)

照射画角
レンズの焦点距離に連動して表示されます。
フラッシュモード



フラッシュモード

撮影する被写体や条件に合わせてフラッシュモードを選びます。



1 [MODE](▲) ボタンを押す

2 ダイヤルを回しフラッシュモード選ぶ

- [MANUAL]または[FP MANUAL]を選んだとき、[MODE](▲) ボタンを押すと、ガイドナンバーを設定できます。もう一度押すと、元に戻ります。

3 [OK] ボタンを押し、決定する

| コントロールパネル表示 | 制御内容 |
|---|---|
| <p>TTL AUTO</p> | カメラの設定に合わせて、発光量を自動的に制御します。カメラのレンズを通した明るさで発光量を調整します。通信機能付カメラは通常このモードをお使いください。 |
| <p>AUTO</p> <p>点滅:フラッシュ撮影可能範囲外警告</p> | カメラの設定に合わせて、発光量を自動的に制御します。フラッシュのAUTO受光部を通した明るさで発光量を調整します。通信機能付カメラは[AUTO]モード対応機種のみ使えます。 |
| <p>MANUAL</p> | 設定したガイドナンバーで発光します。設定したガイドナンバーとカメラ側の設定で算出された最適撮影距離が表示されます。 |
| <p>RC</p> | ワイヤレスモード対応の当社製デジタルカメラとの組み合わせで本機をワイヤレス制御することができます。(P9) |
| <p>FP TTL AUTO</p> | フラッシュ同調速度より高速秒時でもフラッシュを使った撮影ができます。(FP発光) ● 最大発光量が小さくなるのでフラッシュ撮影可能範囲が短くなります。また、シャッター速度が速いほど撮影可能距離は短くなります。 |
| <p>FP MANUAL</p> | [FP TTL AUTO]: 自動的に発光量を制御します。 [FP MANUAL]: 設定したガイドナンバーで発光します。設定したガイドナンバーとカメラ側の設定で算出された最適撮影距離が表示されます。 |
| <p>SL AUTO</p> | 他のフラッシュ光に同期してワイヤレスで発光させることができます。(「スレブ(P14)」) |
| <p>SL MANUAL</p> | [SL AUTO]: 自動的に発光量を制御します。 [SL MANUAL]: 設定したガイドナンバーで発光します。 |

ボタンで操作する機能

| ボタン | 機能 | 操作 |
|--|--|---|
|  | フラッシュの発光量を±5段の範囲で調整できます。カメラ側のフラッシュ光量調整値に合算されて発光します。 | <ol style="list-style-type: none"> 1  (◀) または [ZOOM] (▼) を押す 2 ダイヤルを回し設定値を選び、[OK] ボタンを押す |
| ZOOM | 手動で照射角を変更できます。手動の設定時は[M]が表示されます。 | |
|  | LEDライトを手動で点灯させます。 | <ol style="list-style-type: none"> 1 あらかじめLEDライトを[M]に設定しておく 「その他の設定(P11)」 2  (▶) を押してLEDライトを点灯する <p>もう一度 (▶) ボタンを押すと消灯します。 LEDライト点灯中に (▶) を2秒間押し続けると、設定されているLEDライト光量が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● LEDライトを連続点灯させると、本機および電池が温くなることがあります。異常ではありません。 |
| TEST/ CHARGE | 発光のテストをします。[TEST/CHARGE]ランプ点灯中に[Test/CHARGE] ボタンを押すと、発光させることができます。 | |
| BACK LIGHT | コントロールパネルのバックライトが約 15 秒間点灯します。 | |

ワイヤスフラッシュ撮影:設定する

ワイヤレスモード対応の当社製デジタルカメラとの組み合わせで本機をワイヤレス制御することができます。ワイヤレスフラッシュ撮影時のデジタルカメラの操作については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 カメラをワイヤレスモードに設定する

2 フラッシュのフラッシュモードを [RC] モードにする

「フラッシュモード(P7)」

- [RC]を選んだとき、[MODE](▲) ボタンを押すと、チャンネルの設定ができます。もう一度押すと、元に戻ります。



3 フラッシュでチャンネルやグループの設定をする

「その他の設定(P11)」

| | |
|---------------|---|
| CH チャンネル | カメラとフラッシュで同じ番号に設定します。 |
| A B C グループ | カメラ側で設定した 3つのグループのどの発光制御設定で発光するかを選択します。 |

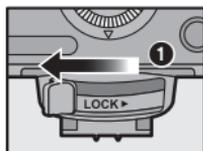
カメラ側でグループ別に、発光モード、発光量調整、発光量などの設定ができます。

ワイヤスフラッシュ撮影:フラッシュを配置する

カメラのフラッシュの光により通信を行うため、フラッシュの設置範囲はカメラによって変わります。カメラの取扱説明書をご覧ください。

1 付属のスタンドを取り付ける

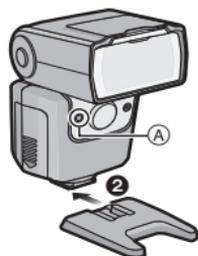
- フラッシュのロックレバーを [LOCK ▶] の反対方向にスライドさせて①、フラッシュをスタンドの奥にカチッと突き当たるまで、しっかりと差し込みます②。
- ロックレバーを [LOCK ▶] の方向へスライドさせて固定します。
- 取り外しの際は、ロックレバーを [LOCK ▶] の反対にスライドさせて、取り外します。



2 フラッシュのワイヤレス受光部(A)をカメラ側に向けて設置する

設置後は、テスト撮影をしてください。

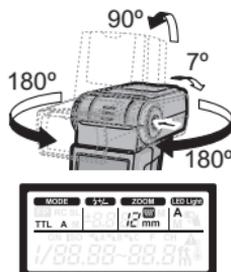
- ワイヤレスフラッシュの設置数は 1グループ最大3 台をお勧めします。
- カメラとの距離や向きにより発光しない場合があります。



照射方向をセットする

照射方向を天井や壁に向けてバウンス撮影できます。また被写体まで0.5～1.0 mの距離で撮影するときは照射範囲がずれるので下向きにセットします。

バウンスロック解除ボタンを押しながら、フラッシュ発光部の向きを回転させる



ワイドパネルを使う

レンズの焦点距離が12 mmよりワイド側でフラッシュ撮影するときは、内蔵のワイドパネルを使用してください。レンズの焦点距離が12 mm以下のときはZOOM表示が点滅して警告します。

ワイドパネルを引き出してフラッシュ発光部の前にセットする

- 撮影可能範囲の計算値はワイドパネル使用時の値に変更されます。
- 照射角の設定は10 mm、8 mmのみとなります。
- ワイドパネルは上側に倒さないでください。
- ワイドパネルがセットされた状態でレンズの焦点距離が12 mm以上のときはZOOM表示が点滅して警告します。

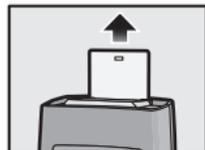


キャッチライトプレートを使う

フラッシュ光を反射させることで、人物の目に光が映りこむキャッチライト効果を使った撮影ができます。

キャッチライトプレートを引き出す

フラッシュ発光部を真上にしてプレートを被写体に向けます。



その他の設定

コントロールパネルから機能を選んで設定することができます。

1 [OK] ボタンを押す

コントロールパネルの任意の項目が点滅します。



2 ▲/▼/◀/▶ を押して設定する項目を選ぶ

3 ダイヤルを回し設定を選び、[OK] ボタンを押す

| 設定できる機能 | 内容 |
|--|---|
| MODE(フラッシュモード) | P7 |
|  (発光量調整) | P8 |
| ZOOM(照射角) | P8 |
|  (LEDライト) | LEDライトの点灯の設定をします。 [A]: カメラの動作に合わせて自動点灯します。 [M]: LEDライトボタン押しで点灯します。 なし: 点灯しません。 |
| GN(ガイドナンバー) | 発光量を設定します。 |
| ISO感度 | ISO感度の設定をします。 |
| グループ設定 | [RC]モード時のグループ設定をします。(P9) |
| 絞り値 | 絞り値の設定をします。 |
| チャンネル設定 | [RC]モード時の通信のチャンネル設定をします。 (P9) |

カスタム設定

本機を使いやすいようにカスタム設定することができます。

- 1 [OK] ボタンを 2 秒以上押す
カスタム設定モードになります。
- 2 ▲/▼ を押して設定する項目を選ぶ
- 3 ダイヤルを回して設定を変更する
- 4 [OK] ボタンを 2 秒以上押して、設定を終了する

| コントロールパネル表示 | 機能 | 内容 |
|-------------|---------------|--|
| | AF補助光 | [A]: カメラ側の制御により点灯。 [OFF]: 点灯しない。 |
| | LEDライト 光量 | [1/1] ~ [1/16]: LEDライトの明るさを設定する。 |
| | スレープ発光 | [ON]: スレープ発光をフラッシュモードで表示する。 [OFF]: スレープ発光をフラッシュモードで表示しない。 |
| | フラッシュ ケーブル | [ON]: フラッシュケーブルを使用しない。 [OFF]: フラッシュケーブルを使用している。 |
| | ズーム表示 | [W]: フォーサズレンズの値で表示。 なし: 35 mmフィルムカメラ換算で表示。 |
| | 距離表示の 単位 | [m]: 距離をメートル単位で表示する。 [ft]: 距離をフィート単位で表示する。 |
| | ワイドパネル 検知 | [ON]: パネルのセットを検知する。照射角が自動設定されます。 [OFF]: パネルのセットを検知しない。 |
| | ガイド ナンバー表示 | [ON]: 発光量をガイドナンバーで表示する。 [OFF]: 発光量を光量比で表示する。 |
| | 外光オート 通信 | [ON]: ISO感度と絞りがカメラに合わせて調整されます。 [OFF]: フラッシュのISO感度と絞りをダイヤルで調整できます。 ●通信機能付デジタルカメラのみ働きます。(フラッシュモードが[AUTO]、[SL AUTO]時のみ) |

| コントロールパネル表示 | 機能 | 内容 |
|-------------|------------|--|
| ISO 100 | オート ISO 表示 | [25]～[3200]:本機と通信できないカメラをフラッシュモード[AUTO]で使用したときのISO感度を設定する。 |

■ カスタム設定をお買い上げ時の状態に戻す

[OK] ボタンと [BACK LIGHT] ボタンを同時に2秒以上押す

コントロールパネルが一瞬点滅して設定が初期化されます。

距離表示の単位はお買い上げ時の状態に戻りません。

通信機能のないカメラで撮影する

■ AUTO

ISO感度と絞り値をカメラと同じ設定にします。

1 フラッシュのフラッシュモードを [AUTO] に設定する



「フラッシュモード(P7)」

- [AUTO]を選んだとき、[MODE](▲) ボタンを押すと、絞り値の設定ができます。もう一度押すと、元に戻ります。

2 照射角をレンズの焦点距離に合わせる

「ZOOM」(P8)

3 ISO感度、絞り値を設定する

「その他の設定(P11)」

ISO 感度、絞り値の組み合わせが使用可能範囲外の場合は [ISO] [F] が点滅して警告します。設定を変更してください。正しく発光したときは、シャッターを切った後、[AUTO CHECK] ランプが約5 秒間点滅します。

■ MANUAL

ガイドナンバーを設定します。

1 フラッシュのフラッシュモードを [MANUAL] に設定する



「フラッシュモード」(P7)

2 照射角をレンズの焦点距離に合わせる

「ZOOM」(P8)

3 ガイドナンバーを設定する

「その他の設定」(P11)

スレーブ

他のフラッシュ光に同期してワイヤレスで発光させることができます。

1 フラッシュのフラッシュモードを [SL AUTO] または [SL MANUAL] に設定する

「フラッシュモード(P7)」

フラッシュの設定は、[AUTO]、[MANUAL]モードと同じです。
「通信機能のないカメラで撮影する」(P13)

2 フラッシュを設置する

フラッシュの設置は、ワイヤレスモードと同じです。
「ワイヤレスフラッシュ撮影:フラッシュを配置する」(P9)

設置範囲はカメラの取扱説明書をご覧ください。

- カメラの発光モードをプリ発光しないマニュアルの設定にしてください。プリ発光を行うカメラでは、プリ発光に同期するので、正しく発光できません。
- 他の撮影者のフラッシュに反応して発光する場合があります。



使用上のお願い

■ 本機について

本機をデジタルカメラに付けた状態で、本機を持って持ち運びしない

■ 電池について

長期間使用しないときは、必ず電池を取り出す

不要になったニッケル水素電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ⊕ 端子、⊖ 端子をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



Ni-MH

充電式

ニッケル水素
電池使用

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

| 電源 | DC 6.0 V |
|--|---|
| 使用推奨電池 | 単 3 形アルカリ乾電池(LR6)4 本 / 単 3 形充電式ニッケル水素電池(Ni-MH)4 本 |
| 充電時間 (フル発光してから [TEST/ CHARGE] ランプ点灯まで) | 約 2.0 秒: 単 3 形アルカリ乾電池 約 1.5 秒: 単 3 形充電式ニッケル水素電池 |
| 発光時間 | 約 1/20000 秒 ~ 1/500 秒 (発光量により変わる、FP 発光時除く) |
| 発光回数 (フル発光時) | 約 250 回: 単 3 形アルカリ乾電池 約 350 回: 単 3 形充電式ニッケル水素電池 (min. 1900 mAh タイプ) (撮影条件により変わる) |
| AF補助光 | 有効距離の目安 1 ~ 5 m (使用するデジタルカメラ、レンズの種類によって異なる) |
| フラッシュモード | TTL AUTO/AUTO/MANUAL/FP TTL AUTO/ FP MANUAL/SL AUTO/SL MANUAL/RC |
| ガイドナンバー | 36 (ISO100 時)、12 (ISO100、ワイドパネル使用時) |
| 照射角度 | 12 mm から 42 mm レンズの画角をカバー (35 mm フィルムカメラ換算で 24 ~ 85 mm) (ワイドパネル使用時: 8 mm レンズ (35 mm フィルム カメラ換算で 16mm)) |
| 寸法 | 約幅 62.0 mm × 高さ 104.0 mm × 奥行 98.0 mm (突起部除く) |
| 質量 | 約 376 g (電池含む) 約 257 g (本体) |
| 推奨使用温度 | 0 °C ~ 40 °C |
| 許容相対湿度 | 10%RH ~ 80%RH (結露しないこと) |

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- 煙が出たり、異常なおいや音がる
- 内部に水や異物が入った
- 外装ケースが破損した

そのまま使うとやけど・火災・感電の原因になります。

・電源を切り、販売店にご相談ください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

警告



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕ と ⊖ を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕ と ⊖ を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

・電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する。



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

⚠ 注意



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m 以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



フラッシュ発光部および AF 補助光 /LED ライトは、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



ロックレバーはしっかりと締める

緩んでいると、フラッシュライトが落下し、けがをする原因になることがあります。

- 使う前にしっかりと締まっているか確かめてください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



次のときは、電池を取り出す

電池を入れたまま放置すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

| | | | | |
|--------|---|---|---|---|
| 販売店名 | | | | |
| 電話 | (|) | — | |
| お買い上げ日 | | 年 | 月 | 日 |

修理を依頼されるときは

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

| | |
|---------|------------|
| ● 製品名 | フラッシュライト |
| ● 品番 | DMW-FL360L |
| ● 故障の状況 | できるだけ具体的に |

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このフラッシュライトの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)(続き)

- 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください
ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日
受付9時~20時

電話 フリー
ダイヤル  **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 宅配修理サービスのご案内
(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでの依頼も可能です。

- お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いたしております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて地図を掲出しております。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

| | | | |
|-------|-----|----------------|-------------------------|
| 北海道地区 | 札幌 | ☎(011)894-1251 | 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 |
| 東北地区 | 宮城 | ☎(022)387-1117 | 仙台市宮城野区扇町7-4-18 |
| | 山形 | ☎(023)641-8100 | 山形市平清水1丁目1-75 |
| 首都圏地区 | 川口 | ☎(048)297-7820 | 川口市戸塚2丁目23-20 |
| | 千葉 | ☎(043)208-6034 | 千葉市中央区未広5丁目9-5 |
| | 東京 | ☎(03)5477-9700 | 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 |
| | 秋葉原 | ☎(03)3251-4616 | 千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル |
| | 国分寺 | ☎(042)328-3211 | 国分寺市東戸倉2丁目38-1 |
| 中部地区 | 神奈川 | ☎(045)847-9720 | 横浜市港南区日野5丁目3-16 |
| | 愛知 | ☎(052)819-0225 | 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 |
| 近畿地区 | 京都 | ☎(075)646-2123 | 京都市南区上烏羽中河原3番地 |
| | 大阪 | ☎(06)7730-8888 | 大阪市城東区関目2丁目15-5 |
| | 吹田 | ☎(06)6338-1241 | 吹田市春日3丁目20-6 |
| 中国地区 | 兵庫 | ☎(078)796-3140 | 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 |
| | 松江 | ☎(0852)23-1128 | 松江市平成町182番地14 |
| 四国地区 | 岡山 | ☎(086)242-6236 | 岡山市北区野田3丁目20-14 |
| 九州地区 | 香川 | ☎(087)874-3110 | 高松市国分寺町国分359番地3 |
| 九州地区 | 福岡 | ☎(092)593-8002 | 春日市春日公園3丁目48 |
| 沖縄地区 | 沖縄 | ☎(098)877-1207 | 浦添市城間4丁目23-11 |

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0512

■ 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日
受付9時～20時

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■ FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

■ 宅配修理サービスのご案内(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

- お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2012

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離れた本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
 - (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご添付がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

- ※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.



Panasonic

持込修理

フラッシュライト保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

| | |
|-------------|---------------------------|
| 品番 | DMW-FL360L |
| 保証期間 | お買い上げ日から 本体 1年間 |
| ※ お買い上げ日 | 年 月 日 |
| ※ お客様 | ご住所 お名前 様 電話 () - |
| ※ 販売店 | 住所・販売店名 電話 () - |

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号 TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

